



2024年11月5日

各位

会社名：株式会社じもとホールディングス  
(コード番号：7161 東証スタンダード市場)  
代表者名：取締役社長 坂爪 敏雄  
問合せ先：総合企画部長 菅原 正宏  
(TEL. 022-722-0011)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、連結子会社である株式会社きらやか銀行（以下、「きらやか銀行」といいます。）及び株式会社仙台銀行（以下、「仙台銀行」といいます。）の業績動向を踏まえ、下記のとおり、2024年5月14日に公表した2025年3月期第2四半期 連結業績予想を上方修正しましたのでお知らせいたします。

なお、当社の2025年3月期第2四半期の決算発表は、2024年11月12日を予定しております。

### 記

#### 1. 2025年3月期第2四半期連結業績予想の修正

##### 1-1 2025年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 600	百万円 400	円 銭 14.95
今回修正予想 (B)	2,200	1,400	52.35
増減額 (B-A)	1,600	1,000	
増減率 (%)	266.6	250.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	2,008	1,520	

##### 1-2 修正の理由

#### (1) 子銀行(単体)の2025年3月期第2四半期業績予想の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

きらやか銀行は、与信関係費用と経費が当初予想を大幅に下回る見込みであるため、経常利益と中間純利益が、ともに前回発表予想を上回る見込みです。

仙台銀行は、役務取引等利益の増加、経費の減少などにより、経常利益が前回発表予想を上回りますが、中間純利益は前回発表予想どおりとなる見込みです。

以上により、当社連結の2025年3月期第2四半期の業績予想を上方修正するものです。

	きらやか銀行		仙台銀行	
	経常利益	中間純利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 200	百万円 100	百万円 400	百万円 300
今回修正予想 (B)	1,400	900	600	300
増減額 (B-A)	1,200	800	200	0
増減率 (%)	600.0	800.0	50.0	0.0
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	820	620	1,103	850

## (2) きらやか銀行

同行では、法人税等調整額が当初予想を上回る見込みですが、与信関係費用と経費が当初予想を大幅に下回る見込みであるため、経常利益は前回発表予想を12億円上回る14億円、中間純利益は前回発表予想を8億円上回る9億円を見込んでおります。

きらやか銀行 2025年3月期第2四半期 主な増益要因

単位：百万円

主な要因	第2四半期		増減 B-A
	当初予想 A	今回予想 B	
与信関係費用	700	△100	△800
経 費	5,800	5,400	△400
法人税等調整額	80	400	+320
小 計	6,580	5,700	△880

### <与信関係費用>

第2四半期においては、不良債権等処理額の減少などにより、与信関係費用が当初予想比で800百万円減少となる見込みです。

このうち新規費用発生への備えは、倒産発生や経営状況が悪化した先が当初予想よりも少なかったことから、当初予想比で600百万円減少となる見込みです。

また、再生支援費用は、再生支援に必要となる追加の信用コストが当初予想よりも少なくなることから、当初予想比で250百万円減少となる見込みです。

きらやか銀行 2025年3月期第2四半期 与信関係費用の予想

単位：百万円

主な要因	第2四半期		増減 B-A
	当初予想 A	今回予想 B	
一般貸倒引当金		△100	△100
不良債権等処理	700	0	△700
新規費用発生への備え	700	100	△600
取引先の再生支援費用	350	100	△250
引当水準の変動	△350	△300	50
その他		100	100
小 計	700	△100	△800

<経費>

第2四半期においては、人件費、物件費が当初予想以上に減少する見込みです。

税金は、2024年9月に減資手続きを行ったことから、外形標準課税が減少したため、当初予想比で減少する見込みです。

きらやか銀行 2025年3月期第2四半期 経費の増減要因

単位:百万円

主な要因	第2四半期		増減 B-A
	当初予想 A	今回予想 B	
人件費	2,600	2,500	△100
物件費	2,600	2,500	△100
税金	600	400	△200
小計	5,800	5,400	△400

(3) 仙台銀行

同行では、役務取引等利益の増加、経費の減少などにより、経常利益は前回発表予想を2億円上回る6億円を見込んでおります。

なお、法人税・住民税及び事業税が当初予想を上回る見込みであることから、中間純利益は、前回発表予想どおりの3億円を見込んでおります。

2. 2025年3月期通期の業績予想 (変更ございません)

(1) 通期業績予想 (変更ございません)

2025年3月期通期 連結業績予想数値 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	百万円 1,500	百万円 900	円 銭 33.65
(ご参考) 前期通期実績 (2024年3月期)	△22,329	△23,462	

子銀行の2025年3月期通期 業績予想数値 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	きらやか銀行		仙台銀行	
	経常利益	当期純利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	百万円 200	百万円 100	百万円 1,300	百万円 800
(ご参考) 前期通期実績 (2024年3月期)	△23,778	△24,428	1,693	1,167

(2) きらやか銀行（変更ございません）

前記のとおり、第2四半期の与信関係費用は当初予想を大幅に下回りましたが、通期においては、以下の理由により、当初予想どおり年間15億円を見込んでおります。このため前回発表どおりの通期業績予想を見込んでおります。

- ① 新規費用発生への備えは、今後、取引先への物価上昇などの影響が顕在化することも念頭におき、当初予想どおり年間14億円を見込んでおります。
- ② 再生支援費用は、支援継続先に対するサポートを展開しておりますが、追加発生や前倒し対応の可能性があり、当初予想どおり年間7億円を見込んでおります。

きらやか銀行 2025年3月期通期 与信関係費用予想

単位：百万円

主な要因	当初予想			今回予想			差異 B-A
	上期	下期	通期 A	上期	下期	通期 B	
一般貸倒引当金		△100	△100	△100		△100	0
不良債権等処理	700	950	1,650	0	1,650	1,650	0
新規費用発生への備え	700	700	1,400	100	1,300	1,400	0
取引先の再生支援費用	350	350	700	100	600	700	0
引当水準の変動	△350	500	150	△300	450	150	0
その他		△600	△600	100	△700	△600	0
小計	700	850	1,550	△100	1,650	1,550	0

(3) 仙台銀行（変更ございません）

金利上昇に伴い預金等利息が増加する見込みですが、貸出金利息や役務収益の増加、物件費の減少でカバーすることで、前回発表どおりの通期業績予想を見込んでおります。

以上により、当社の2025年3月期の通期連結業績予想は、前回発表予想どおりとしております。今後、業績予想の修正が必要になった場合は速やかに公表いたします。

3. 配当予想（変更ございません）

- (1) 2025年3月期の当社連結業績予想においては黒字回復を見込むものの、2024年5月14日に発表しましたとおり、普通株式及び各種優先株式の配当予想は未定としております。現時点において配当予想に変更はございません。
- (2) また、前回発表のとおり、年間配当水準は当社連結の通期業績予想に連動しておりますことから、今後の配当予想を開示する場合は、期末配当に一本化する予定でございます。
- (3) なお、2024年9月20日に国の承認をいただき、公表しました当社グループの経営強化計画は、2025年3月期以降配当を行う前提で記載しております。
- (4) 当社及び子銀行は、経営強化計画を確実に実行することで黒字決算への回復と復配に取り組むとともに、公的資金返済に向けた剰余金の積上げに取り組んでまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以上